

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年 2月 9日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300526
法人名	有限会社鹿屋介護サービスセンター
事業所名	グループホーム田園
所在地	鹿児島県鹿屋市祓川町5369番地1 (電話) 0994-40-315
自己評価作成日	平成25年 10月 18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成25年11月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設の敷地が広く畑があり季節の野菜等や柿木や梅の実などの収穫や花を育て、皆で楽しんでいる。又周囲が田園地域で、散歩しながら季節の変化を感じることができる。施設内のホールは50畳と広く利用者同士のトラブルがあっても席を離すことができるので、利用者のストレスがたまりにくい広さである。施設内は玄関から台所以外はバリアフリーで車イスで移動できる。防火設備もスプリンクラーを設置してある。職員は全員採用されてから半年以内に消防署の普通救命講習を受講するようにしており、現在は今年6月に採用された職員1人以外は受講済みである。各居室は7畳の広さがあり、仏壇や家具を持って来られてもおける。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ホームは軽量鉄骨の平屋作りの建物で、鹿屋市郊外の周囲を田園に囲まれた自然豊かな土地に建てられている。広々とした敷地に、リビングや居室、トイレや浴室、廊下などゆったりと設計されており、バリアフリーで車いすでの生活でも支障がない。スプリンクラーや自動通報システムが設置され、安全面にも気を配っている。

○町内会に加入し、地域との交流が盛んである。ホームの行事の「ふれあい祭り」にはチラシを配布して広報し、多くの地域の方の参加があり、焼き鳥や焼きそば、カレーなど提供し、賑やかな交流会をしている。小中学生との交流、ボランティアで草刈りをして頂いたり、地域住民・消防団員の協力を得ての避難訓練など地域に根ざした施設運営を行っている。

○施設の庭や畑での日常的な戸外での活動の他、買い物、知人宅への訪問、外食等の利用者の希望に沿った外出を積極的に支援している。楽しく、明るく、生き生きとした生活を送れるように、職員は個々の利用者に沿った支援に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送りでその日の職員全員で理念の唱和をして理念の共有実践につなげている。	地域密着を意識した理念があり、事務所やホールの人目につきやすい場所に掲示している。毎朝職員と唱和したり、機会あるごとに確認をするように務め、日々の実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	近所の方とは色々な催しがある時など協力を頂き交流している。最近は役員の家の上棟式に来てもらい、お祝いのお酒等を頂いた。運営推進会議にも住民代表で参加いただいている。	町内会に加入し、行事を通じて交流を深めている。ホーム行事の「ふれあい祭り」に地域の方を招いて賑やかに開催している。ボランティアによる8月踊りや棒踊りを見学したり、小、中学生の訪問、職場体験の受け入れもしている。地域の方から農産物の差し入れもよくある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	近所の方々の認知症で困っている方があれば、相談に乗れるように、見学等自由に出来るように配慮している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	委員は住民代表と町内会長、地域の消防団員、市職員等に出席していただき御意見を伺いサービス向上に活かせるようにしている。また外部評価を報告して取り組み状況を説明している。	2ヶ月に1回、定期的を開催し、町内会長や住民代表、消防団員、家族代表、行政などの出席があり、業務の報告をしたり、意見交換の場となっている。外部評価の結果報告も行い、意見をもらっている。この会での進言から、レントゲン検診車を施設によんで、利用者健診をまとめて実施するなど、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	何か相談したい事は市の高齢福祉課や福祉政策課の職員と連絡を取り協力を頂いている。また空情報の報告をして、入所希望者の情報等を頂いている。	運営推進会議に出席をいただいたり、日頃から頻繁に連絡を取り合い、情報交換や相談したりする関係を築き、協力体制を構築している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束についての外部研修への参加や、施設内研修を毎年実施して、身体拘束についての勉強会を通して、職員の意識向上を図り、ケアに取り組んでいる。	外部や施設内の研修に積極的に取り組み、職員の拘束をしないケアの意識づけに努めている。外出傾向のある方がいても施錠はせず、見守り、センサーでの対応、さりげなく連れ添うなど工夫して取り組んでいる。言葉かけも拘束をしないケアを心がけている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎年外部研修や施設内研修を実施して、どういことが虐待になることかなど、管理者職員ともに勉強して、虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	青年後見制度については毎年外部の研修に参加して、必要な場合は活用できるように支援して行こうと思っているが、今のところはまだ必要な方はいない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は契約書を本人と家族の前で一緒に読み上げて説明して、質問にもお答えして納得してもらってから契約をしている。また改定事項はその都度説明して、同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会でアンケートを出してもらい、意見を聞くようにしている。また、家族同士で話し合う機会を設けて、意見を出してもらっている、遠方で参加できない方にもお手紙で、アンケートを出してもらっている。	家族会があり、アンケートを利用したり、家族同士で話し合う機会を設けるなどして、ご家族の率直な意見を聞く工夫をしている。遠方の方へは毎月出す「園だより」を通じて交流を深め、意見・要望をお手紙でいただいている。出された意見は、職員間で話し合い、運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の職員会議や日々の朝の申し送り等で、職員の意見を聞くように心掛けている。	月1回の職員会議や毎朝夕の申し送りの機会に職員からの意見や希望を聞いて、より良い運営に生かすようにしている。管理者は、普段から職員が気軽に率直な意見が出せるように親しみやすい、話しやすい雰囲気作りに気を配っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	毎月の休み希望等を出していただき、個々の希望が叶うように休み等に配慮した勤務にしている。家族などにも配慮して突然の勤務変更にも柔軟に配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修の機会は外部研修は本人の希望をかなえられるように、配慮して、また、職員会議等を利用して施設内研修を実施したりしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他の施設での夏祭り等の催し等には、職員が利用者をお連れしたりして、参加するように努力している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ルールは、決めないで本人のペースで生活できるように配慮しているが、入所前に本人や家族の希望要望をお聞きして、本人が安心して生活を出来るように支援に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に家族に本人の生活歴等をお聞きして、困りごとや不安要望などお聞きして、出来るだけ希望に添って安心して生活できるように支援に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	施設としてまた家族として出きる事出来ないことなどを検討して、本人にとって生活しやすい環境を提供できるか、他のサービスも考慮して、可能なら支援に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の出きる事出来ない事を見極めて、無理のないようにお手伝い等本人のやる気を出してもらうように役割を持たせて共に生活できるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の方には、お手紙での連絡等毎月行い。日々の本人の生活状況をお知らせして、必要なら来ていただき相談している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の希望があれば、なじみの店での買物や、知人の家の訪問等、職員がお手伝いして送り迎えなど支援している。	以前住んでいた所や知人宅の訪問、馴染みの店での買い物、外食、墓参りなど、本人の希望に沿って外出支援を行い、これまでの馴染みの人や場所との関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士仲のよい人悪い人がおり、なかなか難しいところもあるが、ホールが広いので仲の良い人同士をお隣同士に席をして、仲の悪い人同士が、席が遠くなるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約の終了している方で、今までも身内のいない方の支援をして、住所を施設のままとしたり、入院保証人になったりして、支援している。また、施設に戻りたい人も空室がでたら優先している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプランの作成では本人の意見をお聞きして、プランに反映している。また家族の意見等もお聞きしている。	日頃のケアのなかで、本人の希望や要望を聞き取ったり把握するように努め、またご家族からは訪問時やお手紙から希望を伺い、ケアプランに反映させるようにしている。希望の内容やケアプランは職員で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の生活歴を家族や本人にお聞きして、本人の趣味嗜好等や馴染みの暮らしに配慮して生活が出来るように支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の暮らしの支援において、それぞれもてる能力を把握して、現状にあった生活支援をしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日の出来たこと出来なかったこと等の実施記録と毎月のモニタリングを行い本人のより良い暮らしを支援した介護計画を作成している。	「ケアプランによる介護実施状況」表を作成し、日々の実施内容を記録したり、毎月モニタリングを行ったりして、3ヶ月毎に介護計画の見直しを行っている。職員の視点の統一をはかって、情報を共有しながら、現状に即した介護計画をたてている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の介護記録を毎日記録してまた、ケアプランに基づく介護実施記録をつけることによって現状に則した介護の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の出かけたいところへの送り迎えやドライブ、病院受診で家族が対応できない時や、お墓参り等、その都度柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域でのお祭りや行事などへの参加や、地域の帽踊りの施設訪、本人が出来るだけ地域に溶け込んで楽しく生活できるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人の安全安心生活を最優先に支援するために、かかりつけ医を、ホームの近くにしてもらい、特変ある時はいつでもすぐ連れて行けるように支援している。	本人・家族の希望を聞いたり、今後の受診状況を加味してかかりつけ医の調整をしている。利用者の受診記録を作り、薬・状態の管理、次回の受診がスムーズにいくよう情報を共有したり、家族へ報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の介護の中で気付いた利用者の身体変化を看護職員と共有して、必要なら病院受診や看護を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が入院した時は、必要な情報提供書を常時用意しており、病院は近くの総合病院をいつも利用するようにして、利用者の緊急の入院にも対応してもらえるように協力書をいただいています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期の利用者の場合は、当施設では対応できないことを、入所の段階で説明して、同意を頂いています。重度化した場合は病院や看護ステーション等の利用をしながら対応支援するように取り組んでいます。	入所時に重度化や終末期についてのホームの指針を説明をして、同意を得ている。病院や訪問看護ステーションとの協力体制を作り、消防隊に渡す情報提供カードを作成したり、職員・地域の関係者との連携のもとチームで支える支援を目指している。救命救急の講習会は職員全員受講している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変時救急車の呼び方や情報の提供のマニュアル、また情報提供書を常時用意しています。また、救急救命の初級講習を新人には受講させています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署消防団との合同訓練を年2回定期的に行い、地域に消防団員がおり、火災通報が近所の消防団員の携帯に直にながれるように協力いただいている。</p>	<p>職員、地域代表、消防署などが参加して、夜間想定も含めた避難訓練を年2回実施している。地域の方(消防団員)も入った緊急時の連絡網を作成している。米、懐中電灯、ヘルメット、茶、食品などを備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その人の価値観を大切にしたい、生活を出来るように部屋は許可を得て入り、プライバシーを損なわないように押付のない気配りした支援をしている。	一人ひとりの価値観の違いや性格の違いに十分配慮して、個々の人格を尊重した言葉かけや対応をしている。排泄への誘導には、羞恥心に気を配った声掛けに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その人のその日の気分にあった生活をできるように、本人の食事の時間など、希望や思いを大切にしたい支援をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にしたい、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	買物や家族のところへ外出、お墓参り等、その人の希望など、安全に配慮して、希望に添った生活を支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	服や化粧品の買物や、お化粧等されたり、髪染めなど、される時もお手伝い等支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人一人の好みや嫌いな物をお聞きして、嫌いな物等は別のメニューにその人はしたり、配慮した食事になっている。またお手伝いできる方にはお願いして食事は職員も一緒にしている。	入所時の聞き取りで、食事の好みや咀嚼力などを把握し、場合によっては別メニューを用意して本人の希望に沿った食事を提供している。準備や下ごしらえ、後片付けなどを出来る方には手伝ってもらい、職員も同席して会話を楽しみながら食事をしている。季節感のある行事食の工夫もしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分不足の人はゼリー、黒砂糖入りお茶、コーヒー等に対応して、食事量の少ない人はエンシュアリキッドで栄養補給し、血糖値にも配慮し、毎日バイタルチェックしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝昼夕口腔ケアしている、夜のみ入れ歯を外して、洗浄消毒剤につけて、朝にまた付けてもらうようにしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿便意の訴えのない人もわずかなサインに注意しながら、日中はDパンツを使用し、必ず定時トイレ誘導で排泄を促して、排泄の自立に向けた取り組みをしている。	個々の排泄パターンを把握したり、わずかなサインも見逃さないよう気を配り、トイレでの排泄を目指して支援している。入所してからトイレで排泄ができるようになった例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	車イスの方は動きが取れないので、繊維質の野菜やゼリー、イモ類なども食べてもらっている。またスクワットなどの運動やラジオ体操をしてもらっている。また、医師の指示で緩下剤も利用して便秘改善をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	月、水、金曜日の入浴日はあるが、本人が希望したり、汚れた時はその都度入浴できるように支援している。	おおよその入浴日は設定しているが、希望があれば毎日でも入浴できる体制を取っている。一番風呂に入りたい等、こだわりのある人には出来るだけ希望にそった対応を心がけ、入浴剤や石鹸も個人の好みにあわせている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転になっている人もおられるが、それを直すのではなく、その人の生活の個性ととらえて、その人のリズム大切に支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	人によっては服薬支援の必要があったりするので、その人にあった服薬を支援、飲み忘れないように服薬確認は職員がしている。服薬による変化にも注意して、医師に報告している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人の希望に合った趣味、畑作り花作り習字グランドゴルフやレクリエーション、買物外出などしながら、楽しく暮らせるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	施設の方でも遠足等を計画して外出する機会を設けているが、本人が出かけたいときは、家族や友人、職員等の協力をえて出来るだけ希望をかなえて出かけられるように支援している。	お花見や遠足など、施設の計画する外出の他、日常的に希望があれば、家族や職員の同行のもと散歩や買い物、外食等の外出を楽しんでいる。施設の畑で、花や野菜の栽培、草むしり等の戸外での作業も普段から良く行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人が希望される時はお小遣いを渡して、買物の付添い支援や、自分で買物できない人はその人の財布からお金を預かり欲しい物を買って来たりお手伝い等をしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族への手紙の代筆や、電話をしたり家族と連絡を取りたいときはいつでもできるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホールは50帖の広さがあり、それぞれにプライバシーを保てる広さになっている。どうしても気の合わない方がいても、適度な距離を保てる広さである。また風通しも良く、トイレもすぐいける距離に配置して、利用しやすくしている。</p>	<p>とても広々としたリビングは、採光、風通しも良好でゆったりとくつろぐ事が出来る。季節感のある花や展示物が飾られている。外の景色も眺められ、庭にもすぐ出られるようにしてあり、外気浴が楽しめる。車いすでの移動にも十分なスペースの通路があり、トイレ、浴室等も広くとっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにはテレビを見るソファがあり、ゆっくりとみれる。またテーブルも仲のよい人同士過ごせるように、工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所の時に思い出の品や写真、希望者はまたお仏壇や家具等お部屋に入るものは持ってきてもらい、安心して居心地良く過せるようにしてもらっている。</p>	<p>エアコン、ベッド、整理タンスの備品のほか、本人の馴染んだもの、希望の品が持ち込まれ、思い出の写真や仏壇、家具などが本人の使い勝手のいいように配置されて、居心地の良い部屋となるように工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>玄関からホール居室風呂場トイレ全てバリアフリーになっており、車イスでも自走できるようにしている。台所もお手伝いできるように、流しも2箇所もうけて工夫している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
		<input checked="" type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input checked="" type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/>	1 ほぼ全ての職員が
		<input checked="" type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	3 職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/>	2 家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	3 家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	4 ほとんどいない